

教室日記<こころの天気図>発行・音田輝元



<SA・子ども教室研究科>

学習成果発表会

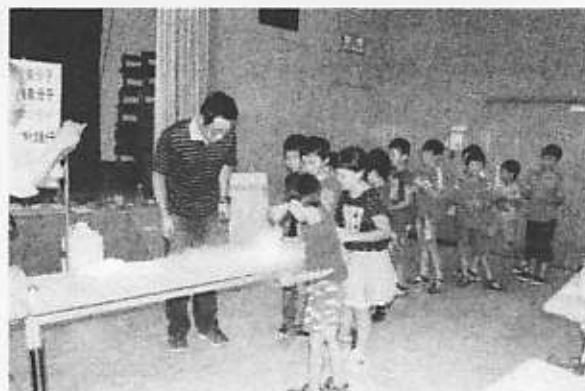
地域の子ども達に<笑顔>を届ける活動

その基本を学び、交流し、実践してきました!

■いつでも、どこでも、たのしさを求めて活動した一年間でした!

<SA・子ども教室研究科>は、「地域の子ども達に<笑顔>を届ける活動!」その具体的な方法を学ぶ教室です。「<子ども教室>はどのように進めるのか? 科学実験やおもちゃ作り教室はどのように?」などをテーマにして、体験講座を基本に学習し、交流し、実践してきました。

7月29日の<法円坂子ども科学実験・おもちゃ作りフェスティバル>は、カリキュラムの一つとして、クラス全員で取り組みましたが、会場にはステキな笑顔がいっぱいでした。



★7月29日・<法円坂子ども科学実験・おもちゃ作りフェスティバル>



★おもちゃ作りの指導も慣れたもの。さすがです! <SA・子ども教室研究科>

●多少の希望的観測でもあるが、私はこの団塊の世代が日本に本物の老人文化や介護サービス、ニュータイプのボランティアなど、文化・ビジネス両面で新しいものを作っていくだろうと期待している。…と<江坂>さん。<SA・子ども教室研究科>の皆さんの活躍こそ、「最も進んだニュータイプのボランティア活動ではないか!」と思います。

★文化祭もくSA・子ども教室研究科>は、チームとして盛り上がりました！



おりぞめも大人気でした！

ポリ袋で遊ぼうの大道実験にも、人・人・人！授業者の熱意に感動！

●個を活かしあえるもの同士が、ゆるやかに連帯していこう。人生それぞれ、人さまさま。人と家族の数だけの生き方、生き甲斐がある。「オレはこれにチャレンジする」というものを見つけ、そこで満足を味わったらいい。定年後、これはわれわれの生き方だというライフ・スタイルを団塊とそれに続く世代は見せてほしい。(江坂彰)

24年度も、多様な活動へチャレンジしました。ご協力ありがとうございました。



大盛況、ユニークロボットタワッチ君作り！

感動！<もしも原子が見えたなら>

●今日で一年間の学びが終わります。今年も、皆さんから沢山の刺激を得ることができ、感謝の気持ちで一杯です。充実した一年間でした！ありがとうございました。(音田輝元)